

令和6年度 学校自己評価 IVY大分高度コンピュータ専門学校

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

①教育理念・目標

	評価項目	評価
	・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
	・学校における職業教育の特色は明確化されているか	4
	・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
	・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3
	・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

[課題]

- ・三つのポリシーについて、入学生及びその保護者(保証人)への周知は十分にできているが、在校生に対する再確認及び保証人に対する現状報告等広報活動が不十分。
- ・ITは加速度的に技術革新が進んでいく分野なので、常に社会や業界からのニーズを把握し、教育目標や教育内容を見直していく必要がある。

[今後の改善方法]

- ・学校ホームページのリニューアルを行い、保護者や外部に対する的確な情報公開・情報発信を公開を行う。
- ・学校（学科・専攻）が目標とする人材育成をするために、入学時だけではなく在校生にも再確認する取組みを実施し意識付けをする。
- ・産学連携教育をより強固なものにして業界のニーズを把握し、それに応えられるように教育内容を整える。
- ・国や県が推進する政策を常に把握し、対応や有効活用ができるよう職員の意識改革・育成を進める。

[特記事項]

- ・入学時にオリエンテーション、新入生研修で「専門分野の特性」「育成人物像」を考える研修を実施したうえで授業に取り組む体制ができている
- ・企業や自治体と様々な形で連携し、産学官協働の新しい教育モデルの構築に積極的に取り組んでいる。

②学校運営

	・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
	・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3
	・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
	・人事、給与に関する規定等は整備されているか	3
	・教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
	・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
	・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
	・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

[課題]

- ・私立学校法改正により求められる、内部統制システムの整備に努める必要がある
- ・変化に対応する学校運営のために、職員間の自発的な取組みが適切に評価されるしくみを整える必要がある
- ・担当部署ごとに集約したデータを全体で活用するしくみが不十分。

[今後の改善方法]

- ・頑張っている職員を的確に処遇するため、新たな人事評価システムと給与体系の再構築に取り組む。
- ・私立学校法改正に伴う寄附行為改正に基いて、内部組織規則を整備・運用する

- ・DX推進担当を中心に、業務のデジタル化とデータ活用による戦略構築の仕組みを整えていく。

[特記事項]

③教育活動

・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方針の工夫・開発などが実施されているか	4
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等がおこなわれているか	4
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
・授業評価の実施・評価体制はあるか	3
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントがおこなわれているか	4
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
・教員の能力開発のための研修等が行われているか	3

[課題]

- ・学生による授業評価は実施されているが、分析・活用が個人のレベルにとどまっている。
- ・業界動向の把握や先端知識習得のための研修、職員の能力開発のための自己研鑽のシステムが不十分
- ・教育内容の充実を図るために、専門分野の人材確保のため、企業等との一層の連携が必要である

[今後の改善方法]

- ・授業評価の方法について、評価結果の活用まで含めた見直しを行う
- ・高度情報システム学科の職業実践専門課程の認可に向けた取り組みを確実に行う。
- ・企業連携を推進し、教育内容・実務実習機会の拡充を図るとともに、実践的分野の講師の確保に努める。

[特記事項]

- ・連携するゲーム会社が他県に広がりを見せはじめた。

④学修成果

・就職率の向上が図られているか	4
・資格取得率の向上が図られているか	3
・退学率の低減が図られているか	3
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

[課題]

- ・卒業生の活躍状況が十分に把握できておらず、本校教育活動に外部の卒業生の力を生かせていない。
- ・学生の主体性を重視した資格取得率向上の指導システムを整備する必要がある。

[今後の改善方法]

- ・モチベーションアップも加えた検定試験合格のカリキュラムの見直しを行う。

- ・求人企業等への訪問などを実施し、卒業生の活躍状況・評価について情報収集を行う。

[特記事項]

- ・創立40周年記念の同窓会懇親会を開催した。

⑤学生支援

・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
・学生相談に関する体制は整備されているか	4
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
・学生の生活環境への支援は行われているか	3
・保護者と適切に連携しているか	4
・卒業生への支援体制はあるか	3
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

[課題]

- ・就職課と教務（クラス担任）との情報共有と連携強化を図り、細やかな指導・サポートの実施が必要。
- ・主体的な創作・製作活動では、学園内において学生の作品を発表する場が十分ではない。

[今後の改善方法]

- ・高等学校段階までのキャリア教育の現状を踏まえ、本校での職業教育・キャリア教育を見直す。
- ・課外活動で制作した作品の発表会や外部コンペへの参加などを促していく。

[特記事項]

- ・学生の自主的な製作活動を支援するため、ものづくり教室を新設し内容の充実に努めている。

⑥教育環境

・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
・防災に対する体制は整備されているか	3

[課題]

- ・教育DXに対応した将来構想に基づく、施設・設備の計画的な改修・更新が必要。
- ・最新の地域防災計画に対応した学校の防災計画の整備並びに訓練、防災備蓄の充実が求められる。

[今後の改善方法]

- ・教育DXに対応した施設・設備の中期整備計画を策定し、改修・更新を実施する。
- ・最新の地域防災計画学校に対応した学校防災計画・学校防災マニュアル（危機管理マニュアル）を整備する。

[特記事項]

- ・災害時に帰宅困難となった学生および職員のために必要な防災備蓄品を整備した。
- ・本館1階ロビー及び各階の通路・階段部分、非常階段の改修工事を実施。

⑦学生の受入れ募集

・学生募集活動は、適正に行われているか	4
---------------------	---

・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
・学納金は妥当なものとなっているか	4

[課題]

- ・少子化による18歳人口の減少、大学等との競合の中での学生数の確保
- ・高校生に本校の魅力を伝える、オープンキャンパスの在り方の研究が必要。

[今後の改善方法]

- ・学生の就職実績、資格取得の情報に加えて、外部コンテスト入賞などの情報も積極的に広報する。
- ・学校ホームページのリニューアル、SNSの活用による積極的な情報公開を進める。

[特記事項]

- ・インスタグラムでの情報発信に対する反応について、週単位で分析し職員で共有をしている。。

⑧財務

・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
・財務について会計監査が適正に行われているか	4
・財務情報公開の体制整備はできているか	4

[課題]

- ・中長期的財務基盤の安定のため、18歳人口減少の中でも一定の学生数を確保できる取り組みの創意工夫が必要。
- ・改正私立学校法の施行、学校法人会計基準の改正に対応した財務処理、情報公開の実施に適切に備える。

[今後の改善方法]

- ・学校法人会計基準の改正に対応した、新しい財務・会計の体制を整える。
- ・学校法人会計基準の改正に対応した会計帳簿の備置き、保管、開示の体制を整える。
- ・中長期のビジョン・事業計画にもとづき、中長期の財務方針を整備する。

[特記事項]

- ・新学校法人会計基準に対応した会計システムの導入を終えた。

⑨法令等の遵守

・法令、専修学校設備基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
・自己評価結果を公開しているか	4

[課題]

- ・私立学校法をはじめ関係法令の改正の情報把握と適切な対応を行うシステム作りが求められる。
- ・学校法人運営に関する法令に詳しい人材の育成を行う必要がある。

[今後の改善方法]

- ・私立学校法改正にもとづく内部統制システムの整備を行う。
- ・

[特記事項]

- ・私立学校法改正にともなう、寄附行為の改正をおこない承認を受けた。

⑩社会貢献・地域貢献

・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4

〔課題〕

- ・学生のボランティア活動にとどまらず、学校としての地域貢献や公開講座の積極的な取り組みが必要。
- ・公共職業訓練受託の拡大に向けた検討と、組織体制の整備が必要。

〔今後の改善方法〕

- ・参加を促す地域貢献活動が、学校で学ぶ知識・技術の活用やコミュニケーション能力の向上等につながるものを中心にするこゝで、学生の積極的な参加をうながす。
- ・自治体や企業、高等学校等からの協力要請に応じて、組織的に地域貢献に取り組む。

〔特記事項〕

- ・県内高校及び企業・団体との連携による、大分県オリジナルいちご「ベリーツ品質選別AⅠ」システムの開発研究が内閣府のオープンイノベーション大賞審査員特別賞を受賞した。。

以上が令和6年度の学校評価の結果集計です。様々な課題と改善策について意見をいただき感謝申し上げます。